

ガリレオ関係の年表

- 1543年、コペルニクス死
- 1545年、トレント公会議開催（63年まで）
- 1546年、ルター死

- 1564年、ガリレオ、ピサに生まれる。

- 1609年、望遠鏡を製作、様々な天文観測
- 1610年、『星界の報告』
- 1611年、第二次ローマ旅行。ローマの自然科学アカデミー、リンチェンチ学士院会員となる。
- 1613年、カステッリ宛ての手紙で聖書と地動説が矛盾しないことを説く。
- 1615年、第三次ローマ旅行。地動説の説得のため。
- 1616年、第一次裁判（ガリレオは召喚されず）
 - 2月24日、検邪聖省の顧問官が地動説が不条理であるとの結論を出す。
 - 2月26日、教皇の命でベラルミーノ枢機卿がガリレオに訓告。
 - 3月5日、図書検閲聖省の教令が出される。
- 1623年、バルベリニ枢機卿、教皇ウルバノ8世となる。
 - ガリレオ、『黄金計量者』を発表。
- 1624年、第四次ローマ旅行、教皇と6度謁見。
- 1630年、『天文対話』を完成。出版許可を得るために奔走。
- 1631年5月、条件付きで出版許可が下りる。
- 1632年、2月21日、『天文対話』フィレンツェで出版。
 - 5月中旬、ローマにも届く。
 - 7月25日、『対話』の発売禁止。秋に、検邪聖省、特別委員会開催。ガリレオに出頭命令。
- 1633年、第二次裁判
 - 2月21日、ガリレオ、ローマに到着。
 - 4月12日、第一回尋問
 - 4月27日、裁判官と私的会見、ガリレオに自己の非を認させることに成功。
 - 4月30日、第二回尋問。ガリレオ法廷で自己の非を認める。
 - 5月10日、ガリレオの抗弁
 - 6月16日、検邪聖省と教皇の例会。ガリレオの処分について決定。
 - 6月22日、（ミネルバ修道院）判決、ガリレオ公に地動説を撤回。
 - 12月、フィレンツェの自宅に戻る。
- 1634年、『新科学対話』完成
- 1642年、1月8日、死亡。